

【概況】

1 内政

- (1) ルソン閣僚評議会副議長の辞任（3月31日）
- (2) 果実農業組合第6回総会の開催
- (3) キューバ史上初の百科事典の発行
- (4) 第11回建設国際見本市の開催
- (5) フィデル・カストロ前国家評議会議長の映像公開（7日）
- (6) 非国営企業に対する規制の変更
- (7) ダム貯水率が例年を下回る49%
- (8) 第7回共産党大会の開催
- (9) パナマ・コロン港でのコカインに発見に関するキューバ税関発表
- (10) キューバ人の海上交通に関する規制緩和
- (11) 日用品の一部値下げ措置

2 外交

- (1) 米キューバ間保健協議の開催（於米国）
- (2) ナザルバエフ・カザフスタン大統領のキューバ訪問
- (3) ベネズエラによる保健分野への資金供与
- (4) 孫政才中国共産党中央政治局員のキューバ訪問
- (5) メキシコ海軍練習艦のハバナ寄港
- (6) 米国の「芸術と人類の大統領府委員会」のキューバ訪問
- (7) ハモンド英国外務大臣のキューバ訪問

【本文】

1 内政

- (1) ルソン閣僚評議会副議長の辞任

3月31日付官報で、ルソン閣僚評議会副議長（革命軍将官）の副議長辞職が発表された。

- (2) 果実農業組合第6回総会の開催

2日、標記総会が行われ、マチャード・ベントゥーラ党第二書記が閉会式に出席した。現在、果実農業組合の数は206を数え、生産量の16.8%を占める。約4000ヘクタールで果実栽培を行い、98,750トンの生産を行った（当初計画の113%と言われる。）。また、灌漑設備の発展についても農業大臣より報告があった。

### (3) キューバ史上初の百科事典の発行

2日、「若者に関する研究の国際会議」において、「1000の質問と回答」と題する百科事典が発行された。初版3000部は、公共又は高等教育施設の図書館に配布される。今年中に10000部の発行を目指し、一般に販売される見込み。

### (4) 第11回建設国際見本市の開催

5日に開幕。メサ建設大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が開会式に出席。25カ国199社が参加。また、名誉招待国であるチリから、サバル・チリ住宅都市計画大臣が開会式に出席。また、今回初めて米国企業も参加した。

### (5) フィデル・カストロ前国家評議会議長の映像公開

7日、フィデル・カストロ前国家評議会議長は、故ビルマ・エスピニン氏（ラウル・カストロ前国家評議会議長の妻で、革命の英雄の一人）の生誕を祝う行事に参加するため、ビルマ・エスピニン教育センターを訪問し、集まった幼稚園・小学校の先生及び生徒の前で、教育、保健及び食料について語った。

### (6) 非国営企業に対する規制の変更

国営の施設を借りて営業を行っている農業以外の食品及びサービス分野の組合（Cooperativas no agropecuarias(CNA)）及び自営業者（Trabajadores por cuenta propia(TCP)）は、5月2日から生産業者及び卸売り業者（国営及び合弁企業を問わず）から直接物品を買い付けることができるようになった。

### (7) ダム貯水率49%

3月末時点での全国のダムの貯水率が、例年を下回る49%となっている。昨年11月～3月までの乾期の降雨量は、予想の135%と多かったが、貯水率は下止まりしている状況である。

### (8) 第7回共産党大会の開催

16日から19日まで、第7回キューバ共産党大会が開催された。

ア 経済社会政策方針は、これまでの歩みを継続しつつ、必要な改良を加えていくという方針で、8割以上は5年前の方針の踏襲となった。

イ 2030年までの経済社会開発目標および経済社会モデルの概念整理については、継続して検討され、後日確定されることになった。

ウ 経済社会モデルの概念整理等により、憲法改正の可能性も示した。

エ ラウル・カストロ党第一書記およびマチャード・ベントゥーラ党第二書記は留任。ディアスカネルが政治局員の3番手。

オ 指導部の若返りについては言及しつつ、今後5年間で、憲法改正を含めしっかりと制度を設け移行を目指すことを示唆。原則は、60歳以下で党中央委員会に入ること、70歳以上は、幹部を務めないこと、2期10年を上限とすることを表明。今後具体的なルール作りを進めることとなった。なお、この点について5年間の間に党指導部（中央委員会）のメンバーを一部交代させる権限を党中央委員会に特別に委任し権力移行を容易にし

ている。

#### (9) パナマ・コロソ港でのコカイン発見に関するキューバ税関発表

パナマのコロソ港でマリエル港からベルギーに向けて出航したパナマ船籍船が積んだコンテナから401キロのコカインが見つかったと報じられていることに関し、マリエル港税関当局は、本コンテナは、CUBAEXPORT社のもので、蜂蜜が積まれていたものであり、税関当局の検査結果も麻薬を積んでいたとは全く認められず、報道は事実無根であると発表した。

#### (10) キューバ人の海上交通に関する規制緩和

22日、キューバ政府は、キューバ国民の商船及びクルーズ船での出入国を認める発表を行った。5月1日に米キューバ間のクルーズ船が就航することを受けてのもの。

#### (11) 日用品の一部値下げ措置

22日、国民の低い購買力と食品の国際価格の下落を考慮し、キューバ国民の購買力を徐々に高めるための方策をとって、日用品（食用油、鶏肉、菓子類、調味料等）の20%の値下げを発表した。

## 2 外交

### (1) 米キューバ間保健協議（於米国）

キューバ保健省次官が米国を訪問。ジカ熱等の感染症、また、がんや糖尿病等の非感染症の研究、治療、予防について議論を行った。議論の中では、双方の保健システムにも話が及び、また、健康調査、高齢化、メンタルヘルス、初期治療等のテーマについても取り上げられた。また、双方は、これらのテーマを含む了解覚書を作成することで一致した。

### (2) ナザルバエフ・カザフスタン大統領のキューバ訪問

2日、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談。会談では、両国の伝統的な友好関係について議論し、二国間の協力を強化していくことで一致した。

### (3) ベネズエラによる保健分野への資金供与

アマドゥーロ・ベネズエラ大統領は、キューバ・ベネズエラ・ハイレベル委員会会合において、両国間の2016年の保健、教育、文化及びスポーツ分野における協力計画の強化に向け14億2800万ドルの資金供与を行うことを発表した。

イ 現在、ベネズエラ国内には、46,000人のキューバ人が医療サービスを行っている。

### (4) 孫政才中国共産党中央政治局員のキューバ訪問

5日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、当地を訪問中の孫政才中国共産党中央政治局員と会談した。親密な雰囲気の中で会談は行われ、両国の共産党、政府、人民の歴史的な関係を深化させていくことを確認した。孫政治局員からは、第5回中央委員会全国総会の結果及びその場で取り上げられた経済社会方針等について情報提供があった。

### (5) メキシコ海軍練習艦のハバナ寄港

11日、メキシコ海軍の練習艦BE-01クアウテモックがハバナに寄港した。

(6) 米国の「芸術と人類の大統領府委員会」のキューバ訪問

18日から21日まで、米国の「芸術と人類の大統領府委員会」(Comite Presidencial para las Artes y las Humanidades。大統領府の諮問機関とされる。)が当地を訪問した。同委員会は、芸術及び音楽分野のプロデューサー等で構成され、当地の高等芸術大学(ISA)や国立劇場等の主要芸術施設を訪問、21日には共同宣言を発出した

(7) ハモンド英国外務大臣のキューバ訪問

29日、ハモンド英国外務大臣がキューバを訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長に表敬した。また、今次訪問において、中長期債務リスクに関する二国間合意に署名した。

**【要人往来】**

(1) 来訪

ナザルバエフ・カザフスタン大統領  
孫政才中国共産党中央政治局員  
ムネラ・カリブ諸国連合事務局長  
サバル・チリ住宅都市計画大臣  
モハメド・ケニア外務・国際貿易長官  
ハモンド英国外務大臣

(2) 往訪

ロドリゲス外相のドミニカ共和国訪問 (CELAC外相会合出席)  
レウス法相の米国訪問 (国連麻薬特別総会出席)